

1. 2011年度QCサークル埼玉地区 退任者ご挨拶

1-1) 2011年度 QCサークル埼玉地区 地区長退任ご挨拶



QCサークル関東支部埼玉地区
2011年度 地区長
UDトラックス(株) 車両製造部
General Manager 矢口 英雄

2011年度地区長退任に当たって

QCサークル関東支部埼玉地区の会員及び幹事会員並びに地区役員の皆様には、平素より本地区の諸活動に対し、ご指導ご協力を賜り誠にありがとうございました。

地区長退任にあたり一言御礼のご挨拶を申し上げます。

2011年度は、東日本大震災、それに伴う福島原発事故と電力供給の逼迫、そしてタイの大洪水と度重なる未曾有の災害が日本経済にも甚大な影響をもたらし、決して忘れることのできない試練の年となりました。また、震災直後から国内はもちろん海外から多くの支援が差し伸べられ、「絆」という言葉を再認識した年でもありました。

埼玉地区においては今年度方針を「小集団改善活動を活性化し、現場力(職場)の強化、人財の育成、品質の改善・向上に寄与する」を掲げ、ニーズに合致した企画の創造と提供を通じて、QCサークル活動の活性化による各企業の発展と当地区会員の拡大に向けて活動をしてきました。

会員及び幹事会社並びに役員各位のご協力により今年度予定しておりました行事関係は、若干の日程変更は発生したものの滞りなく終了することができ、発表大会、研修会等を通じて、埼玉地区のQCサークル活動の発展につながったと思います。

2012年度も取り巻く環境は厳しいと思いますが、どんな局面に遭遇しても、問題を解決していける「人づくり」は欠かすことができませんし、この能力を持った人達がいてこそ、「強い現場」をつくり上げることができます。そのためにもQCサークルを通じ、日々の活動の中で、自主的に改善や改革を追及することで、個々人の問題解決能力を養うことは大きな強みです。

2012年度は顧問として、本地区のQCサークル活動が各企業の発展に少しでも貢献できるよう務めさせていただきますので、皆様方の変わらぬご支援とご協力をお願いいたします。

1-2) 2011年度 QCサークル埼玉地区 世話人退任ご挨拶



QCサークル関東支部埼玉地区
世話人 廣瀬 正敏

強い絆でQCサークル活動の活性化を！

このたび3年間お引き受けしていた埼玉地区の世話人を退任させていただくことになりました。

リーマンショックで先進国の経済がダメージを受けた翌年の2009年から、3年間皆様と一緒に埼玉地区活動に取り組んでまいりました。大変厳しい環境の中でありましたが、皆様に支えられ大変貴重な経験をさせて頂きましたこと心から御礼を申し上げます。

リーマンショックの後、新興国の経済発展に支えられて立ち直りかけていた日本経済でしたが、昨年3月11日の東日本大震災で又も苦難を迎えることになってしまいました。千年に1度とも言われる大災害ではありましたが、既に日本は復興にむけて力強く立ち上がろうとしています。それも国に頼るのではなく民間企業と地域の力が中心となっております。昨年1年を象徴する一字として選ばれた「絆」が、その力の源となっております。企業内・企業間の絆、地域内外の絆、そして諸外国との絆が大きな力になっています。QCサークル活動は、その絆を生み出した一つの大きな要素になっているように思います。

日本人の震災時の行動そして復興にむけて助け合う姿に、世界中の人が驚きました。QCサークル活動が世界の企業から驚きの目でみられているのと同じです。そこには人と人の思いやりの心、協力しあう心、即ち絆があるからです。

円高の影響で日本国内の工場の競争力は苦戦に陥っていますが、これに打ち勝たなければ日本のモノづくりの将来はありません。いまこそQCサークル活動の出番です。埼玉地区の各企業が強い絆で結ばれ埼玉地区活動を活性化させるとともに、人と人の絆でQCサークル活動を活性化したいものです。

後任の小玉氏は、QCサークル活動に大変理解が深く経験も大変豊富な方です。私の力不足で出来なかった地区活動の活性化を、必ずやり遂げて頂ける人です。新役員の皆様のご活躍を期待しております。会員皆様の強い絆でQCサークル埼玉地区活動を更に活性化してください。